



- 凡例**
- 近畿自然歩道
  - WC
  - トイレ
  - バス停
  - 飲食店等
  - ★ 標識・案内板
  -



**① 安乗埼灯台**



17世紀に船の道しるべとして建てられたことに由来する四角い灯台。参観可能(9:00~16:00 大人¥200)

**② 志摩国分寺**



奈良時代に創建された志摩地域の国分寺。現在の本堂は江戸時代に再建されたもので軒の木彫が美しい。

**③ 国府白浜**



志摩で最も長い自然の白い砂が美しい砂浜。良い波が来ると大勢のサーファーが各地から集まってくる。

**④ 国府神社**



国府の集落内にある神社。社殿の周りには常緑樹が茂り、落ち着いた雰囲気味わえる。

**⑤ マキ垣**



国府の集落は、海に面しているため防風防砂目的でマキの生垣で屋敷を囲い、やさしい街並みを作り出している。

**⑥ おおよか古墳**



志島の海を望む高台に位置する5世紀頃の古墳。周囲を住宅に囲まれているため気づきにくい。

**⑦ ウバメガシのトンネル**



海岸部ではウバメガシのほかにはトベラやシャリンバイなどの海岸性常緑樹が茂っていて夏も涼しい。

**⑧ 名田大野浜**



畔名から名田に抜ける地の元の人しか通らない山道の先に現れる美しい砂浜。

**⑨ 大井浜**



大王町の名田と波切の間に位置する観光客もめつたにこない静かな砂利浜。

**飲食店案内**

連絡先	営業時間
A: ごんや ★ 井当	11:00 ~ 17:00 頃 (土日祝定休)
B: 地魚三味まるせい ★ あのりふぐ 魚介料理	11:00 ~ 14:00 17:00 ~ 21:00 (10月~3月) (火曜定休)
C: 再来 (ざらい) ★ 手かね寿司・魚介料理	11:00 ~ 14:00 17:00 ~ 23:00 (水曜定休)
D: シヤカペンション ★ ステーキ	11:30 ~ 14:00 頃 ※ 事前予約必要 (水曜定休)

※ 安乗には宿が多く、土産店も点在する。

**ウミガメの来る砂浜**

北太平洋を回遊することが知られてきたアカウミガメは、国内では遠州灘や紀伊半島をはじめとした各地で産卵するが、伊勢志摩も重要な産卵地域である。運が良ければ夏の早朝、産卵後の個体や産卵跡を見ることができ、距離をとって見守ってあげて欲しい。



## 伊勢志摩国立公園

伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町に広がり、55,544haの区域をもつ国立公園である。昭和21年(1946年)に指定され、伊勢神宮と背後に広がる宮域林を中心とした内陸のエリア、小さな入り江と岬を無数に作り出しているリアス海岸に代表される海沿いのエリアに大別される。他の国立公園に比べて民有地の割合が非常に高く(90%以上)、公園内の居住人口も圧倒的に多い。そのため、地域の方たちの生活、歴史、文化、風習などに深く触れられる公園である。

伊勢志摩地域は、「みけつ国」として万葉の時代から海産物の産地として栄え、豊富な海岸線を生かした養殖漁業や海女漁など多様な水産業が営まれてきた。人々の生活と密接に関係する社寺仏閣も多く残され、生活や歴史、文化を包み込むこの自然は、里山、里海として現在も生き生きとしている。

## 安乗～国府～甲賀～畔名コースの魅力

安乗岬は展望に優れた園地として整備されており、太平洋、的矢湾を一望することができる。冬的好天時には希に富士山を遠望することも出来る。

国府白浜は砂浜が広がるビーチで、関西地方有数のサーフスポットでもある。南側は白砂青松が美しい阿児の松原海水浴場で夏場はにぎわう。

国府白浜の西側に広がる国府の集落に足を延ばすと、民家と調和した防風防砂を目的にきれいに手入れされたマキの垣根が見られる。

甲賀から畔名にかけては遺跡や古墳が数多く点在し、古代から生活しやすい場所であったことがうかがえる。悠久の歴史に思いを寄せながら歩みを進めるのもこのコースの魅力である。

伊勢志摩の海岸でも奥行き深い砂浜はアカウミガメの産卵地でもあり、志島の市後浜も夏季には毎年産卵が確認されており、地元による保護活動も盛んである。

畔名の集落を過ぎると、ウバメガシを中心とした海岸性の常緑広葉樹に囲まれた未舗装路を歩くことになる。

潮風交じる里山は伊勢志摩の魅力の一つである。

## ● 標識・案内板例



写真のような標識や案内板が皆さんをご案内します

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。(原簿海海 平26 距離 第09-99号)